

赤野井自治会だより

令和4年(2022年)5月1日 発行
世帯数358戸 人口974人(R4.3/31現在)
発行責任者 自治会長 赤井 優

令和4年度 各種役員さんです。よろしくお願いします。(敬称略)

	川端	馬場	西ノ辻	浜
民生委員	田中 稲夫	赤井 優	決まり次第報告します。	奥野 里美
主任児童委員	林田 俊子			
福祉協力員	三浦 正美、美濃部順子、酒井さゆり、眞田由紀子、南堀志づ江 山本 博子、美濃部美差子、高岡 正江、美濃部恵子			
健康推進員	美濃部智子、藤本 和子、阿加井素子			
人権擁護推進員	三品きぬ江	青少年補導員	中西 邦仁	
地域安全指導員	三品 芳之			
まちづくり推進委員				
市民活動部会	植田 泰弘	寺岡 清一	吉田 幸司	阿加井和成
青少年部会	青田 浩明	石原 昌文	堀井 英幸	美濃部一志
人権・同和部会	三品 長治	南堀 貞雄	田井中俊彦	美濃部好弘
スポーツ・健康部会	西田 真吾	中田 見自	東森 浩	奥野 篤
自衛消防隊 (隊長、副隊長)			高岡 力 (隊長)	中井 良彦 (副隊長)
(班長)	酒井 秀吉	南出 政嗣	中井 勝則	奥野 篤
女性消防隊 (隊長、副隊長)	西田久美子 (隊長)		鈴木 繭美 (副隊長)	
(班長)	山本こころ	中田真砂美	武田日佐美	奥野 朱里
(副班長)	西田久美子	近松 文子	鈴木 繭美	阿迦井朝美

【5、6月の主な行事】

月	日	曜日	行 事	場 所 等
5	1	日	消防点検 7:00	
	3	火	お湯上げ 10:00	若宮神社
	15	日	お湯上げ 10:00	若宮神社、天満宮、龍宮神社
	29	日	赤野井湾クリーン大作戦 9:00	赤野井湾周辺
	31	火	自治会費徴収	
6	5	日	消防点検 7:00	天神川の⇒
	12	日	花苗植替え	桜並木

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により中止、変更する場合があります。

「赤野井歴史の会」がフィールドワーク(赤野井町の歴史秘話めぐり)

3月22日(火)、赤野井歴史の会主催の「歴史探訪講座」で学んだ歴史遺産や跡地を実際に見学するフィールドワークが行われ、地元住民など16人が参加しました。参加者は古代遺跡が出土した遺跡や蓮如上人にまつわる旧跡や仏像、民家にまつられたお地蔵さまなどを見学しながら、ガイドが語る歴史や逸話を熱心に聞いて地域の魅力を再発見しました。(市広報もりやま参照) 裏面に続く⇒

<フィールドワークのコース>

あかいけ 関伽池・釈迦堂 ⇒ 地蔵様（川端） ⇒ じちゅう 寺中遺跡・こうまえ 弘前遺跡 ⇒ 蓮如堂 ⇒ 箸塚 ⇒

赤野井湾・赤野井浜遺跡 ⇒ 赤野井遺跡・狐塚 ⇒ 築山 ⇒ 西別院（北筆門、蓮如上人殉難者の碑、境内の松の木の傷跡：松根油と航空燃料）

「遊びと子供」

（赤野井歴史の会「2021 年度のあゆみ」より）

小さなころ、母は私に「家の中で遊んでんと、**かど**で遊んできい」とよく言いました。要するに「外に出て遊べ」ということなのですが、幼かった私には母の言う「**かど**」の意味が判然としませんでした。いったい「**かど**」とはどこを指すのか、単に玄関を出た家の前だけを指すのか、それとも屋外全域を指すのか。「けど、あんまり遠いとこ行ったらあかんで」という言葉がときおり続くことを考えると、母は一定の範囲を想定して「**かど**」という言葉を使っているようでしたが、幼い私には正確な意味は分からずじまいでした。

しかし、大人になって、母が使っていた「**かど**」という言葉が、実は「**門(かど)**」であり「近所」を意味することを知りました。そして、この言葉は単に「近所」という狭い意味だけでなく、古来、「親しい大人や友人の目の届く安全な範囲」という温かい意味合いが含まれていることも知りました。考えてみれば、今でも私たちは中学校なり、高校を卒業し、より広い世界に出ていくことを「**門出(かどで)**」と言ったりします。つまり、温かい眼差しによって守られ、安穩に暮らしていた安全地帯から、未知の、ある種危険な世界に踏み出していくわけです。

私たちは幼いころ、この「かど」と呼ばれる安全地帯で大いに遊びに興じました。日が傾き暗くなるまで、汗みどろで走り回り、時には悪さをしてご近所の大人から小言を食らうこともありましたが、それも当時の子供にとっては日常茶飯事で、今となってはなつかしい思い出です。

「村が子供を育てる」という意味のことわざがアフリカのどこかにあるそうです。私たちの子供時代、ここ日本でもその精神は確かに息づいていたように思います。幼かったころ興じていた遊びをもう一度思い出し、当時の村（町）の様子や「かど」に思いをはせるのもこれからの「町と人」を考えるうえでおいに意味のあることかもしれません。

この文章を大変興味深く読ませていただきました。これから「まちづくり」をしていくうえで大切にしていかなければならないことだと思いました。ありがとうございました。

筋肉・骨を強くしよう

「健康づくりに関して」（市すこやか生活課 資料）参照

高齢者の要支援・要介護になる原因の第1位は運動器（骨、筋肉、関節など）の障害だそうです。筋力トレーニングや栄養改善に取り組みましょう。

<おすすめの運動>

片脚立ち … 片脚を床から浮かし、
バランスをとる

目的：バランス能力をつける

回数：左右1分間ずつ×3セット/日

※ふらふらする時は机に手をつけて行う



スクワット … 足を肩幅に広げ、お尻を後ろに
引きながらしゃがんで立つ

目的：下肢の筋力をつける

回数：5～6回×3セット/日

※膝の曲がりは90度を大きく
超えないようにする



自治会館よりお知らせ

赤野井自治会館に傘の忘れ物があります。

心当たりのある方は、とりに来てくださ

